

# 災害時要援護者

## 避難支援ハンドブック

(2020年度版)

避難支援者のみなさんへ



このハンドブックは、地域にお住まいの皆さんで災害時に支援を必要とする人を協力して避難させる取り組みをまとめたものです。



吹田市



## も く じ

災害時の助け合い.....	1
名簿登録対象者.....	2
名簿の提供.....	2
日頃の活動.....	3
災害時の活動.....	5
避難支援者による要援護者の支援の流れ.....	9
個別支援計画（表）.....	10
個別支援計画（裏）.....	11
個別支援計画記入例（表）.....	12
個別支援計画記入例（裏）.....	13
MEMO .....	14

# 災害時の助け合い

本市では災害時の避難に支援が必要な人（以下「要援護者」といいます。）を登録した災害時要援護者名簿（以下「名簿」といいます。）を作成し、協定を締結した地域へ名簿を提供しています。要援護者自身や家族による自助、地域の自治会、民生委員・児童委員など地域の避難支援者（以下「避難支援者」といいます。）で助け合う共助、公的機関による公助、それぞれに要援護者に対する防災・避難支援等の充実を図ることを目的とする要援護者支援体制づくりに取り組んでいます。支援体制づくりには同じ地域にお住いの避難支援者の御理

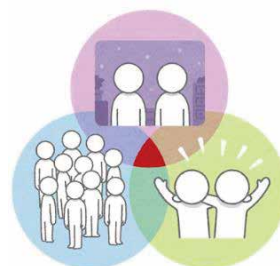


解と御協力が必要不可欠です。また、災害発生時にはまず第一に御自分と御家族の身の安全が最優先です。地域の実情に合わせ、無理なく、できることからサポートをお願いします。

## ◆◆感染症対策への御協力をお願いします◆◆

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。3つの密（密閉・密集・密接）を避けてください。

- ・密閉とは→換気の悪い密閉空間
- ・密集とは→多数が集まる密集場所
- ・密接とは→間近で会話や発声をする場所



# 名簿登録対象者

生活の基盤が自宅にあり、自力で避難することが困難な人が対象となります。なお、在宅復帰予定のない入所（入院）中の人については対象外となります。



- ① 身体障がい者手帳「Ⅰ級」又は「Ⅱ級」の人
- ② 療育手帳（知的障がい児（者））「A」の人
- ③ 精神障がい者保健福祉手帳「Ⅰ級」の人
- ④ 要介護認定「要介護3～5」の人
- ⑤ 75歳以上の独居の人
- ⑥ 75歳以上のみの世帯の人
- ⑦ その他、避難するうえで何らかの支援が必要な人

## 名簿の提供

本市と協定を結んだ地域支援組織（連合単位の自主防災組織・自治会等）に、要援護者本人の同意を得て名簿を提供しています。

	平常時	災害時
①「同意する」場合	避難訓練や避難支援を行う体制づくり、声かけ・見守り活動などに活用されます。	安否確認や避難誘導などの支援活動に活用されます。
②「同意しない」場合	名簿情報は、地域支援組織には提供されません。	「災害対策基本法」の規定により、警察や自衛隊などの救助活動を行う関係機関に提供されます。

## 日頃の活動

～いざという時のために～

### □話し合みましょう

まずは、地域の避難支援者の皆さんで、要援護者一人ひとりにどのような支援ができるのか話し合みましょう。



### □つくりましょう

初対面だといざという時に支援ができません。

あいさつや声掛けでお互いの顔が見える関係を築きましょう。



### □会いましょう

訪問は、事前に連絡をして、複数人で訪問しましょう。

その際、顔見知りの方がいると安心感が増します。

日ごろから隣近所の方や地域の方とコミュニケーションを図り、互いに声を掛け合う関係をつくりましょう。

## □作成しましょう

避難支援者の皆さんで話し合っ  
て、要援護者一人ひとりにあった  
個別支援計画を作成しましょう。

(P10～P13を参考)



### 作成ポイント

- ①訪問時の聞き取りなどにより、実施可能な支援計画を作成しましょう。
- ②要援護者やその家族と話し合いをし、一人ひとりに応じた支援を心がけ、複数の避難経路や避難場所を考えましょう。
- ③避難支援者が被災する場合がありますので、複数名の体制をとっておきましょう。



### ◆◆備えましょう◆◆

最低3日分の食料品・水と災害用トイレ等を用意しましょう。食料品や水はローリングストックをしましょう。そうすることで食品ロスも防げます。

その他には、家具の転倒防止策なども行いましょう。平常時から家族や友人で話し合い、もしもの際に備えましょう。

## 災害時の活動 ～できることから～

避難支援は避難支援者とその家族の安全が確保された上で、無理なく、できることから行われるものであり、法的な責任や義務を負うものではありません。



また、避難支援を行う前には、テレビやラジオ、吹田市公式のSNSなどで最新情報を集めましょう。



### □協力しましょう

#### 安否確認について

- ①安否確認後、必要なときは避難所へ誘導しましょう。
- ②避難が不要な場合でも要援護者が孤立しないようにしましょう。
- ③要援護者から申し出があった場合、その御家族や緊急連絡先などへの連絡に協力しましょう。
- ④安否確認の情報を避難支援者で共有しましょう。



## □伝えましょう

①災害等の情報は簡潔で

わかりやすい言葉で  
伝えましょう。

②口頭で伝えるだけで

はなく、筆談など文  
字を活用しましょう。



③耳の不自由な方や高齢者、外国人に対しては、大きな声で、  
ゆっくり、はっきり話しましょう。

状況に応じてマスクやフェイスガードなどを使い分け伝  
えましょう。

④文字による伝達は、大きくわかりやすい字で、外国人や子  
どもなどにも伝わるよう、ひらがなを多く使うなどしまし  
よう。

⑤重要な情報は、可能な限り一軒ずつ訪問するなどして確実に  
伝えていきましょう。

⑥数字に関する情報（日時や時間など）は、大きな声で、ゆ  
っくり、はっきり確実に伝えていきましょう。

## □支援しましょう

### ①寝たきりの高齢者

…複数人で協力し、担架や毛布などを使って避難しましょう。



また、消防に伝えるなども支援のひとつです。



### ②車いすを利用している方

…上り坂のときは進行方向に前向きになってのぼり、下り坂のときは進行方向に後ろ向きになってくだります。階段などは複数人で協力しましょう。

③耳が不自由な方…口元を読み取れるよう大きくはっきり、身ぶりや手ぶり、筆談などで情報を伝えましょう。



④目の不自由な方…白杖

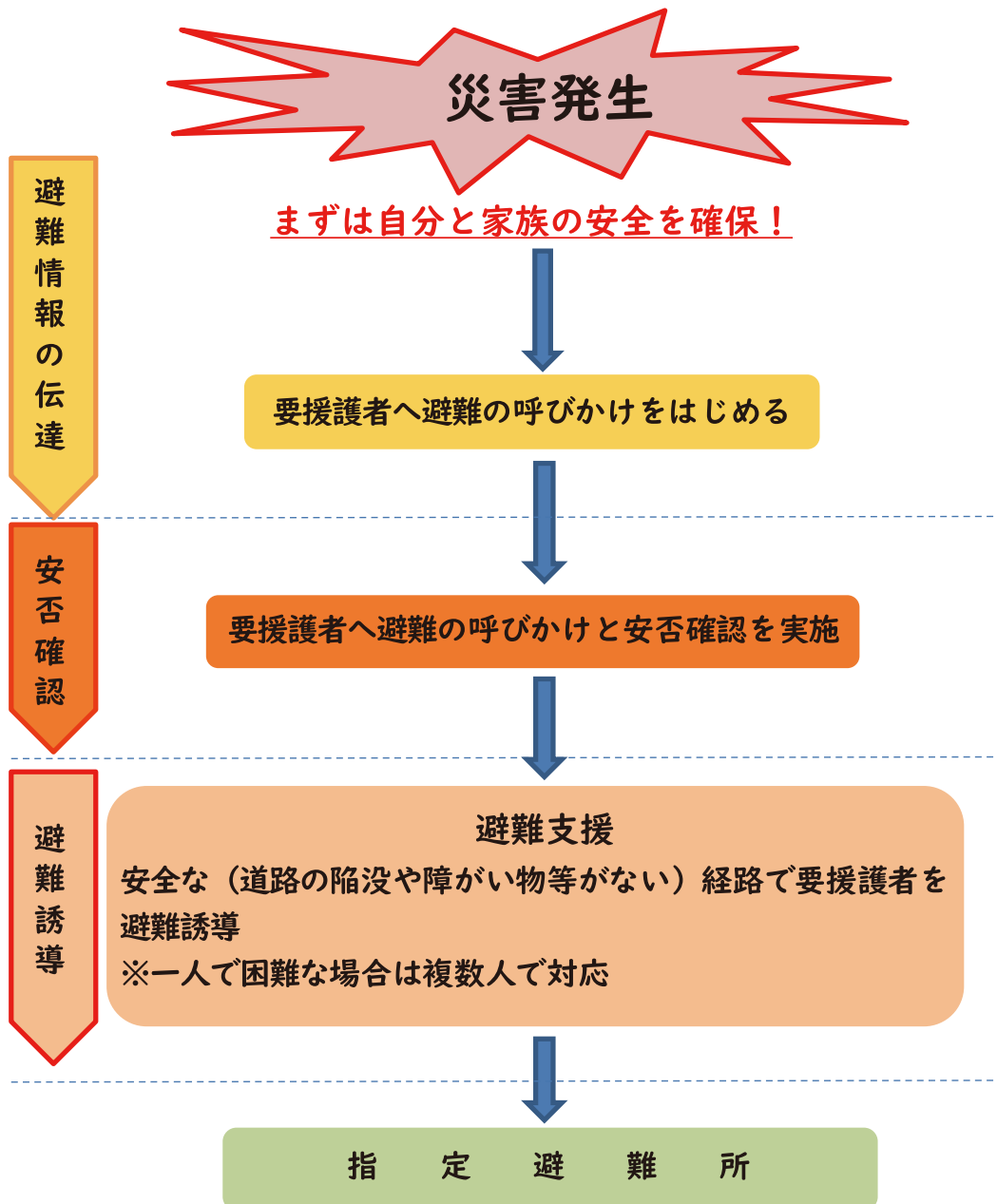
を持つ手と反対側のひじの少し上を軽くつかんでゆっくり歩いて声を掛けながら誘導しましょう。または、誘導する人のひじの少し上を軽くつかんでもらい、半歩くらい前をゆっくり歩きましょう。

盲導犬と一緒に歩いている場合は、盲導犬に触れたり引っ張ったりしないよう、盲導犬の反対側を歩いて声を掛けながら誘導しましょう。



⑤その他の方の場合…それぞれに状態を尋ねるなどして誘導しましょう。

## 避難支援者による要援護者の支援の流れ



※この支援の流れはあくまで参考です。

要援護者の状態により支援の流れは異なります。

# 様式例

## 個別支援計画（表）

作成日： 年 月 日

### 1 災害時要援護者の情報

ふりがな							TEL			
氏名	( 男 ・ 女 )						FAX			
							携帯			
							メール			
住所	吹田市					生年 月日	大正 平成 年 月 日 昭和 令和 ( 歳)			
支援を要する理由 (該当するものに○印を付けてください)										
身障手帳		療育 手帳 A	精神 障がい 手帳I級	要介護			75歳以上		その他	訪問日  年 月 日
I級	2級			3	4	5	独居	世帯		
特記事項 (具体的な支援方法、特に気をつけることなど)										
家族構成・同居の状況など						普段いる部屋・寝室の場所など				
普段飲んでいる薬・使用している医療機器など						かかりつけの病院  (TEL )				
救急医療情報キット あり ・ なし						緊急通報システム あり ・ なし				

### 2 緊急時の連絡先

	①	②
ふりがな		
氏名	(続柄 )	(続柄 )
住所		
TEL		
携帯		
メール		

## 個別支援計画（裏）

### 3 避難支援者の情報

	①	②
ふりがな		
氏名		
住所		
TEL		
携帯		
メール		

### 4 避難場所・避難誘導の方法

一時避難 予定地	指定避難所
自宅から避難場所までの地図	
避難誘導時に気をつけること（必要なものなど）	

作成日： ○○年 ○○月 ○○日

1 災害時要援護者の情報

ふりがな	すいた たろう		TEL	06-0000-0000						
氏名	吹田 太郎		FAX	06-0000-0000						
	(男・女)		携帯	090-0000-0000						
			メール	suita-taro@xxx.ne.jp						
住所	吹田市 泉町1-3-40		生年月日	大正 平成 △△年 □□月 ○○日 昭和 令和 (●●歳)						
支援を要する理由 (該当するものに○印を付けてください)										
身障手帳		療育手帳 A	精神障がい 手帳1級	要介護			75歳以上		その他	訪問日 △△年□□月□□日
1級	2級			3	4	5	独居	世帯		
				○			○			
特記事項 (具体的な支援方法、特に気をつけることなど)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間の支援のみを希望している。(夜間は同居の息子夫婦が支援可能)</li> <li>・要介護2。足が不自由で歩行や立ち上がりをする時に介護が必要。</li> <li>・外出時は車椅子を使用する。</li> <li>・就寝時には紙おむつの着用が必要。</li> </ul>										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 本人のプライバシーを尊重しながら、出来るだけ詳しく記入             </div>										
家族構成・同居の状況など			普段いる部屋・寝室の場所など							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・息子夫婦と3人で暮らしているが、2人とも昼間は仕事で不在のため、一人であることが多い。</li> <li>・娘は遠方に住んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間は居間にいることが多い。</li> <li>・1階の南向きに寝室がある。</li> </ul>							
普段飲んでいる薬・使用している医療機器など			かかりつけの病院							
血圧を下げる薬を服用している。 (○○○○、△△△△、××××)			○○内科医院 (TEL 06-0000-0000)							
救急医療情報キット <b>あり</b> ・ なし			緊急通報システム <b>あり</b> ・ なし							

2 緊急時の連絡先

	①	②
ふりがな	すいた いちろう	とうきょう はなこ
氏名	吹田 一郎 (続柄 長男)	東京 花子 (続柄 長女)
住所	要援護者と同居	東京都新宿区西新宿△-△-△
TEL	06-0000-0000 (職場)	06-0000-0000
携帯	090-0000-0000	090-0000-0000
メール	suita-ichiro@xxx.ne.jp	tokyo-hanako@xxx.ne.jp

家族や親戚、親しい友人など、困ったときや緊急時に連絡する必要がある人を記入しましょう。

# 個別支援計画（裏）

記入例

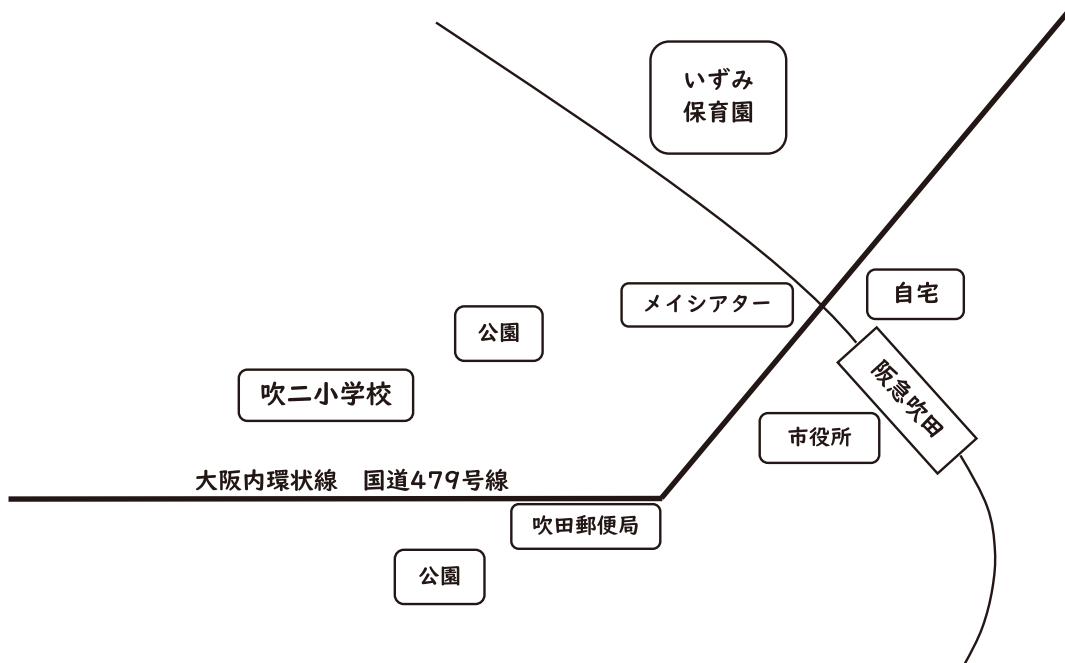
## 3 避難支援者の情報

	①	②
ふりがな	せんり じろう	えさか さぶろう
氏名	千里 次郎	江坂 三郎
住所	吹田市泉町1-△-△△	吹田市泉町1-△-〇〇
TEL	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇
携帯	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール	senri-jiro@×××.ne.jp	esaka-saburo@×××.ne.jp

## 4 避難場所・避難誘導の方法

一時避難 予定地	吹二小学校グラウンド	指定避難所	吹二小学校
-------------	------------	-------	-------

自宅から避難場所までの地図



避難誘導時に気をつけること（必要なものなど）

- ・避難場所までは車椅子で移動する。
- ・冷蔵庫の中に服用している薬があるので、忘れずに持ち出すこと。

<個別支援計画作成にあたって>  
 個別支援計画には決められた様式はありません。  
 要援護者と話し合いながら、支援に必要な情報を自由にまとめましょう。  
 計画様式において整理・把握しておくことが望ましい項目を記載しております。  
 （参考資料として巻末にこの様式例を掲載しています）



# MEMO

A series of 20 horizontal dotted lines for writing.

# MEMO

A large rectangular area containing 20 horizontal dotted lines for writing a memo.





## 災害時要援護者避難支援ハンドブック（2020年度版）

発行 令和3年（2021年）3月

編集 吹田市 福祉部 福祉総務室

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL 06-6384-1363（直通）

FAX 06-6368-7348

ホームページ <https://www.city.suita.osaka.jp/>

この冊子は900部作成し、一部あたりの単価は63.8円です。

